

9/19 村に句文集を寄贈 火の国句会 句文集「蕎麦の花」



吉良村長に句文集を手渡した「火の国句会」会員の皆さん
(右下は今回ご欠席の会員 後藤愛子さん)

村在住の会員6人からなる「火の国句会」(藤本征男会長 吉田一)から、会員の作品を集めて制作した句文集「蕎麦の花」が村に寄贈されました。

同会は月一回、公民館に集まって活動。今回の句文集は活動100回を記念して制作されたとのこと。村広報紙「むらびと芸術館」のページにも毎月寄稿されています。

藤本会長は、「南阿蘇村は景色や自然などが良く、俳句を詠むのにとても恵まれた場所。これからも活動を続けていきたい」と話されました。

9/13 実際に見聞きし学ぶ防災 南阿蘇中学校 震災遺構現地見学



阿蘇大橋崩落現場での語り部さんのお話

南阿蘇中学校の3年生23人が防災教育の授業の一環として、昨年に引き続き震災遺構の現地見学を行いました。

今回は、旧長陽西部小学校で阿蘇地方の模型を見ながら平成28年熊本地震が発生した地学的な仕組みなどを学んだ後、阿蘇大橋の崩落現場に移動。現地では黒川地区の語り部さんが震災当時の様子や災害時に大切なことなどを話し、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

南阿蘇中学校では今後も防災学習を継続し、学期末には生徒たちが避難所の運営側と避難者側に分かれて行う模擬訓練なども実施される予定です。

10/8 戦没者へ追悼と平和の祈り 令和元年度 南阿蘇村戦没者追悼式



祭壇に献花を行う参列者

令和元年度の戦没者追悼式が、ホテルグリーンピア南阿蘇で行われ、戦没者の遺族や関係者約140人が参列しました。

式典では、吉良村長をはじめ、参列者一人ひとりが献花台に花を手向けました。

式典の最後には、村遺族会会長の古澤育男さん(沢津野)が「遠く祖国を離れた戦場において、国家の安泰と肉親の幸せを念じながら一命を捧げられた御英霊の心情に思いを馳せますと共に、戦争の悲惨な教訓を後世に伝えていきたいと思います。御霊のとこしえに安からんことを祈ります」と追悼の言葉を述べられました。

10/3 村へ車いすを寄贈 高森ライオンズクラブ



高森ライオンズクラブの会入会長と村へ寄贈された車いす

高森ライオンズクラブ(会入清興会長)から、村へ車いす5台が寄贈されました。

この車いすは社会貢献活動の一環として、足の不自由な人や高齢者に利用していただくために贈られたもの。

寄贈された5台の車いすは、村公共施設などに設置し活用される予定です。